

第46回

九州地区中学校国語教育研究大会 宮崎大会

延岡地区発表資料

1 理論研究班

古典に関するアンケート結果

- 第1学年 p 1
- 第2学年 p 2
- 第3学年 p 3

2 授業研究班

学習用語の定着 p 4 ~ p 6

古典の授業における言語活動の実際

- 第1学年 「今に生きる言葉 矛盾」 p 7 ~ p 17
- 第2学年 「仁和寺にある法師」「平家物語」 p 18 ~ p 24
- 第3学年 「いにしえのこころを受け継ぐ」 p 25 ~ p 29

単元（教材）		言語活動例【学習指導要領】	言語活動の実際
1年	今に生きる 言葉 「矛盾」 (故事成語)	〔読むこと〕 ア 説明や記録などの文章を読み、理解したことを報告したり文章にまとめたりする活動。	○「故事成語」の意味を調べ、調べた故事成語に当てはまる体験を想起した文章を書く。(200字程度、できるだけ5W1Hを使う)
2年	徒然草 「仁和寺にある法師」	〔読むこと〕 イ 詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。	○「平家物語」「徒然草」を読み、登場人物のものの見方や考え方についてまとめる。(200字~300字)
3年	夏草一 「おくの ほそ道」	〔読むこと〕 イ 詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。	○和歌と「おくのほそ道」を振り返り、心に響く和歌・俳句を引用し、自分の体験と重ねた文章を書く。(300~400字)

1年生

【授業前】

1学年	1 次の言葉を説明を説明できますか	はい	いいえ
	「古典」	23.4	76.6
回答数 830名	「漢詩」	11.6	88.4
	2 次の言葉を使って文章を作れますか	はい	いいえ
830名	「古典」	22.3	77.7
	「漢詩」	8.3	91.7

【授業後】

1学年	1 次の言葉の意味が分かりますか	はい	いいえ
	「古典」	69	31
回答数 539名	「漢文」	73.5	26.5
	「故事成語」	74.6	25.4
539名	2 次の古典の学習はどれくらい取り組めましたか	十分に	よく
	①古典の文章を読んだり、暗唱したりする活動	23	50.3
539名	②調べた故事成語に当てはまる体験などを文章にする活動	28.4	41.6
	3 タブレット使用について	はい	いいえ
539名	①古典学習でタブレットを使った学習を行いましたか	56.4	43.6
	②古典学習でどのようにタブレットを使いましたか（複数回答可）		
539名	話し合い活動	22.8	
	テスト	5.9	
	アンケート	17.4	
	自分の意見を書く	12.1	
	モニターに映して発表に使う	4.6	
	その他	62	
4 今年度の古典学習で古典に登場する人物を身近に感じることができましたか			
身近に感じることができた		12.8	
まあまあ身近に感じることができた		49.4	
あまり身近に感じることができなかつた		31.5	
全く身近に感じることができなかつた		6.3	
5 今年度の古典の学習で古典を学習する意義を感じることができましたか			
感じることができた		18.6	
まあまあ感じることができた		51.6	
あまり感じることができなかつた		25	
全く感じことができなかつた		4.8	

2年生

【授業前】

回答数 709名	2学年	1 次の言葉を説明を説明できますか	はい	いいえ	誤回答
		「冒頭」	42.1	22.5	35.4
回答数 709名	2学年	「隨筆」	49.6	49.4	1
		「係り結び」	20.7	79.3	
回答数 709名	2 次の言葉を使って文章を作れますか	はい	いいえ		
	「冒頭」	67.1	32.9		
回答数 709名	「隨筆」	48.9	51.1		
	「係り結び」	18.7	81.3		

【授業後】

回答数 363名	2学年	1 次の言葉の意味が分かりますか	はい	いいえ			
		「冒頭」	88.4	11.6			
回答数 363名	2学年	「隨筆」	74.7	25.3			
		「係り結び」	54.3	45.7			
回答数 363名	2学年	「漢詩」	70.8	29.2			
		「軍記物」	46.3	53.7			
2 次の古典の学習はどれくらい取り組めましたか			十分に	よく	あまり	悪かった	
①古典の文章を読んだり、暗唱したりする活動			28.9	50.4	18.5	2.2	
3 タブレット使用について			はい	いいえ			
①古典学習でタブレットを使った学習を行いましたか			51.2	48.8			
②古典学習でどのようにタブレットを使いましたか (複数回答可)							
回答数 363名	2学年	話し合い活動	13.8				
		テスト	5				
		アンケート	30.6				
		自分の意見を書く	36.4				
		モニターに映して発表に使う	8.8				
		その他	39.1				
4 今年度の古典学習で古典に登場する人物を身近に感じることができましたか							
身近に感じることができた			16				
まあまあ身近に感じることができた			50.4				
あまり身近に感じることができなかつた			28.7				
全く身近に感じることができなかつた			4.9				
5 今年度の古典の学習で古典を学習する意義を感じることができましたか							
感じることができた			16				
まあまあ感じることができた			50.1				
あまり感じることができなかつた			28.4				
全く感じことができなかつた			5.5				
6 今年度の古典の学習で以前より古典が好きになりましたか			◎	○	△	×	
			19.8	47.4	25.6	7.2	

平成4年度 延岡市中学校国語教育研究会 理論研究班 アンケート結果（数値：%）

3年生

【授業前】

3学年 回答数 680名	1 次の言葉を説明を説明できますか	はい	いいえ
	「季語」	90.5	9.5
	「切れ字」	58.7	41.3
	「有季定型」	49.6	50.4
	2 次の言葉を使って文章を作れますか	はい	いいえ
	「季語」	85	15
	「切れ字」	56.6	43.4
	「有季定型」	38.8	61.2

【授業後】

3学年 回答数 313名	1 次の言葉の意味が分かりますか	はい	いいえ
	「季語」	97.4	2.6
	「切れ字」	85.3	14.7
	「有季定型」	64.2	35.8
	「返り点」	93.3	6.7
	「置き字」	40.9	59.1
	「掛詞」	37.1	62.9
	「反歌」	48.6	51.4
	「枕詞」	50.8	49.2
	「和歌」	91.1	8.9
	2 次の古典の学習はどれくらい取り組めましたか	十分に	よく
	①古典の文章を読んだり、暗唱したりする活動	37.1	50.8
	3 タブレット使用について	はい	いいえ
	①古典学習でタブレットを使った学習を行いましたか	39.9	60.1
	②古典学習でどのようにタブレットを使いましたか（複数回答可）		
	話し合い活動	12.1	
	テスト	1.3	
	アンケート	34.8	
	自分の意見を書く	16	
	モニターに映して発表に使う	8	
	その他	47	
	4 今年度の古典学習で古典に登場する人物を身近に感じることができましたか		
	身近に感じることができた	20.4	
	まあまあ身近に感じることができた	53.7	
	あまり身近に感じることができなかつた	22	
	全く身近に感じることができなかつた	3.9	
	5 今年度の古典の学習で古典を学習する意義を感じることができましたか		
	感じることができた	26.8	
	まあまあ感じることができた	53.7	
	あまり感じることができなかつた	16.9	
	全く感じることができなかつた	2.6	
	6 今年度の古典の学習で以前より古典が好きになりましたか	◎	○
		24.9	51.1
		△	×
		21.1	2.9

①訓読み文の読み方

右側 () は漢字の右下にカタカナで表記する。助詞は平仮名の読み仮名がついている。

誉^レ之^フ曰^ハ「吾^ハ盾^{ヒヨウ}之^フ堅^{キヨト}莫^モ能^{ハシメル}也^{ハシメル}。」

左側 () は漢字の左下に記す。

②返り点の種類と読み方

レ点 ... レ点をはさむ上下の漢字の読み順番が、入れ替わる。連続したときに注意。

《例1》 1 3 ↴ 2 《例2》 3 ↴ 2 ↴ 1 4

一・二点 ... 「一」を読んでから「二」を読む。

《例1》 1 4 = 2 3 - 《例2》 4 = 1 2 3 5 -

一レ点 ... レ点と一・二点が融合したもの。

《例1》 4 = 1 3 ↴ 2 《例2》 1 5 = 2 4 ↴ 3

【練習問題】

(1) □□レ□□

(2) □、□□レ□

(3) □□□レ□、□

(4) □□□=□□-

(5) □=□□レ□□-

(6) □□=□□レ□□

③書き下し文の書き方

訓 読 文 誉^レ之^フ曰^ハ「吾^ハ盾^{ヒヨウ}之^フ堅^{キヨト}莫^モ能^{ハシメル}也^{ハシメル}。」

書き下し文 之を誉めて曰はく、「吾が盾の堅^{キヨト}と、能く陥^{ハシメル}すもの真^{ハシメル}なり。」と。

※注意点

①カタカナで書かれている送り仮名は、書き下し文にするとき()で書く。

②かぎ括弧についているときは、「と」を外に出し、「『~』~」で書く。

③()は平仮名にする。(平仮名で読み仮名が書いてあることが多い。)

一 次の□に、読む順番を数字で記入しなさい。

① □ □ □ し □

② □ □ し □ し □

③ □ し □ □ し □

④ □ し □ □ □ □ -

⑤ □ し □ □ - □ □ -

⑥ □ □ - □ □ - □

⑦ □ - □ □ □ - し □ □

⑧ □ □ し □ - □ □ -

二 次の順になるように、返り点を記入しなさい。

① 1 3 2 4

② 1 4 3 2

③ 3 2 1 4

④ 2 1 3 5 4

⑤ 1 4 2 3

⑥ 4 1 2 3 5

三 次の書き下し文を読んで、訓読文に返り点を記入しなさい。

① 子の矛を以つて、

以 子 之 矛

② 子の盾を陥さば、

陷 子 之 盾

③ 能く陥すもの莫きなり。と。

莫 能 陥 也。

①

楚人有鬻楯與矛者。

譽之曰、吾楯之堅、莫能陷也。

又譽其矛曰、吾矛之利、於物無不陷也。

或曰、以子之矛、陷子之楯何如。

其人弗能應也。

②

楚人有鬻盾與矛者。譽之曰、「吾盾之堅、莫能陷也。」又、譽其矛曰、「吾矛之利、於物無不陷也。」或曰、「以子之矛、陷子之盾、何如。」其人弗能應也。

③

楚人に、盾と矛とを鬻ぐ者有り。

之を誉めて曰はく、「吾が盾の堅きこと、能く陷すもの真きなり。」と。

又、其の矛を誉めて曰はく、「吾が矛の利なること、物に於いて陷さざる無きなり。」と。

或るひと曰はく、「子の矛を以て、子の盾を陥さば何如。」と。

其の人、応ふること能はざるなり。

★気づいたことを記録しよう！

1 授業計画 [12月 2日(金) : 1校時]

教科名	授業者名	単元名	学級(場所)
国語科	田中 浩子	古典「今に生きる言葉～矛盾～」	延岡中学校 1年2組

2 指導計画及び評価計画

主な学習内容及び学習活動	時間	知識・技能	思考・判断・表現			主体的
			話す・聞く	書く	読む	
① 漢文や故事成語について理解し、音読する。	1	○	○			
② 「矛盾」の故事と意味を理解する。	1				○	
③ さまざまな故事成語を調べ、体験文を作文する。 (1) さまざまな故事成語を調べ、意味と用法を知る。 (2) 体験と結びつけて、きまりに従い、作文する。	2 1(本時)	○				○
	1			○		○

3 本時の目標

- 故事成語を意味をとらえて友だちと交流し、自分の体験と結びつけて考えることができる。(主体的な学び)
- 多くの故事成語を知り、その由来や意味を正しく理解する。(知識・技能)

4 ICTを活用した授業改善の視点

- タブレットを利用してさまざまな故事成語を調べ、共有したり、自分の作品に生かす。

5 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価	資料準備
			【評価方法】	
導入(5)	1 前時の復習テストに答える。 2 本時の学習目標を確認する。 故事成語を使って体験文を書こう。 (1)	○ 古典の学習用語を復習し、定着を図る。 ○ 「矛盾」を例に取りながら、本時の学習活動に意欲を持たせる。学習の流れを確認する。	小テスト	テスト用紙 P C
展開(20)	3 「矛盾」を使って、短文を考える。 4 さまざまな故事成語を調べる。 (タブレットの活用) ○ 3人で「推敲」「蛇足」「四面楚歌」を分担して調べ、情報をタブレットで共有する。 ○ その他、たくさんのお話成語を調べる。 5 グループごとに発表し、多くの故事成語を出し合う。	○ 前時の学習を振り返り、日常生活と結びつけて作文させる。 ○ ロイロと検索画面をうまく活用し、カードや画像で共有してよいこととする。 作文するのに書きやすい内容や意味のお話成語を探すように助言する。	発表 ・友だちと一緒に話し合って、意見交換する。 【観察・ワークシート】	ワークシート 徒レタップ 用紙
(20)	6 選んだお話成語の意味と似たような体験を思い出させ、5W1Hでカードに書かせる。 ・体験が浮かばない生徒はタブレットや資料集で調べた用法や短文を真似して創作でもよい。	○ 5W1Hを意識して書かせる。	・故自と、の確う成考 と驗て容明よ解をる。 ・故成語分を書中ににやえ と驗て容明よ解をる。 ・故成語分を書中ににやえ と驗て容明よ解をる。	用紙 徒レタップ
終末(5)	7 次時に5W1Hをつなぎ、300字程度の作文にすることを预告する。	○ 今日、体験が浮かばなかつた生徒は考えてくるように伝えておく。	【ワークシート ・ロイロ】	

6 板書計画

+ どうな何だとい のせをれこつ よう がで うに		2 5 W 1 H で カ ー ド を 作 成 す る。	例 矛盾 蛇足 四面楚歌 虎の威を狩る狐 杞憂 漁夫の利	1 故事成語の意味・用法 矛盾 文字をよくするためには、 蛇足 文章の前後のつじつまがあ 四面楚歌 文字句を練り直すために、 虎の威を狩る狐 独立することや付け足し 杞憂 囲まれることや付け足し 漁夫の利 周りを敵に囲まれ、	④③ 友だち同士で読み文合をする ⑤ 5W1Hで読み文合をする	学習の流れ ②① 故事成語の意味を調べる ③ 故事成語を調べながら、自分の体験とつなげて、自分の体験文を書こう。	今に生きる言葉 (1) 故事成語を調べ、自分の体験とつなげて、自分の体験文を書こう。
で こ あ れ ぞ 。 ま さ し く ○ ○ ○ ○							

国語科学習プリント 今に生きる言葉①

一年()組()

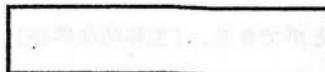
(目標) 漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しみ。

故事成語について理解し、自分の生活と結び付けて考える。

1 教科書P170を読み、漢字や語句を理解しよう。漢字は4回練習しよう。

◎ 日本語の名言、格言、座右の銘・・・中国の古典に由来するものがたくさんある。

()



・・・中国の古典に由来し、歴史的な事実やエピソード(故事)を背景に持っている言葉。

例) 矛盾 蛇足 四面楚歌 螢雪の功

虎の威を借る狐 五十歩百歩 背水の陣

座右の銘			
故事成語			
韓非子			
銘	めい		
矛			
盾			
矛盾			
蛇			
蛇足			
楚人			
誉める			
堅い			
推敲			
蛇足			
四面楚歌			

※「推敲」「蛇足」「四面楚歌」についてはあとで意味を調べます。

2 「矛盾」を声に出して読みもう。

ペア学習 隣の人と読み、ABC判定をもらいうけよう。

()さん	()さん	()さん
A B C	A B C	A B C

国語科学習プリント 今に生きる言葉② 一年()組()

(学習課題) 「矛盾」という言葉はどのような故事に由来するだろうか。

1 漢文の書き下し文の現代語訳を、()を埋めて完成せよう。

矛盾

① 楚人に盾と矛とを鬻ぐ者有り。

楚の国人で、盾と矛を()人がいた。

② 之を誉めて曰はく、「吾が盾の堅^さい」と、能く陷すも^の莫^きな
その人が()をほめて言うには、「私の盾の()」といふと言つたら、これを
り。」と。

()ではない。」と。

③ 又、其の矛を誉めて曰はく、「吾が矛の利^さい」と、物に於いて
まだ、その()をほめて言うには、「私の矛の()」といふと言つたら
陥^かる無^きなり。」と。
どんなものでも()。」と。

④ 或ひと曰はく、「子の矛を以^てて、子の盾を陥^かば、何^{いかん}。」と。
そこである人が、「()の矛で()の盾を突いたらどうなるか。」と尋ねた。

⑤ 其の人応^へふること能はざるなり。

その人は答えることができなかつたのである。

2 「矛盾」という言葉がどんな言葉に由来し、どんな意味で使われるようになつたかを

① 説明しよう。
「矛盾」という言葉が、どんな故事に由来してゐるか、現代語訳をまとめて簡潔に説明
してみよう。

② 「矛盾」という言葉が、どんな意味で使われるようになつたかを説明しよう。

国語科学番プリント 今に生きる言葉③

一年()組()

(学習目標) さまざまな故事成語を調べて理解しよう。

3 教科書に載っていた故事成語をタブレットや資料集で調べ、故事と意味をまとめよう。

故事成語	言葉の意味	基になった故事
(推敲)		
(蛇足)		
(四面楚歌)		

4 さまざまな故事成語を調べ、その中から好きなものを選び、その言葉を使って作文しよう。

故事成語	意味やどんな時に使う言葉かを調べる。

選んだ故事成語

--

例 今日は、自習の課題でワークが出ている。

Aさんは、ワークが早く終わっていた。

次の時、そのページを授業でやるけれど、Aさんは終わっていて、他のページもやつた。
ものすごく怒られた。
これぞ、「蛇足」である。

例 登校日前日の夜。

毎年、私の前には全く手のつけられない宿題の山がある。
だが、登校日は明日。それまでに宿題を終わらせなければならない私は、一睡もしないと
心に決め、徹夜で終わらせている。
これぞまさに「背水の陣」である。

国語科学習プリント 今に生きる言葉③

一年()組()延岡中

(学習目標) さまざまなお話成語を調べて理解しよう。

3 教科書に載っていたお話成語をタブレットや資料集で調べ、お話を意味をまとめよう。

お話成語	言葉の意味	基になったお話
推敲(すいこう)	言葉の意味を何度も練習する	桂枝子が吉原の女達に聞かれて、「おまえは、おまえの仕事は、何を？」と聞かれて、「おまえは、おまえの仕事は、何を？」と答えた。
蛇足(じゆそく)	付加する事	単車の車輪が脱落したので、車輪を修理するため、車輪と一緒に車輪修理用の工具も運んで来た。
四面楚歌(しめんしょくが)	四方に囲まれて困る状況	自らの命を助けてくれた人を裏切った結果、周囲に囲まれて困る状況。

4 さまざまなお話成語を調べ、その中から好きなものを選び、その言葉を使って作文しよう。

お話成語	意味やどんな時に使う言葉かを調べる。
雨が木石を穿つ	木や石に穴を開けたり、穴を開ける力
白雲は日を如がず	あれより何度も人々が実際に見てきた日
右に出る者はいな	右より優秀な者がいる。

選んだお話成語

右に出る者はいな

家の	アーティシテイ	アーティスティックな言葉
気になら	アーティスティック	アーティスティックな言葉
能人	アーティスティック	アーティスティックな言葉
人の	アーティスティック	アーティスティックな言葉
牛	アーティスティック	アーティスティックな言葉
出る者	アーティスティック	アーティスティックな言葉

国語純粋化の歴史　今に生きる言葉③

一年()組(延岡中)

(学習目標) さまざまな故事成話を調べて理解しよう。

3 教科書に載つていた故事成语をタブレットや資料集で調べ、故事と意味をまとめよう。

故事成語	言葉の意味	基になった故事
(推敲)	詩や文章などの語句を何度も練り直しくりにこなにすること。	唐の国の詩人は、信は「推す」か「敲く」かどちらかでこうとう有名な詩人に「敲く」の方が良いと歌えてくれた。
(蛇足)	必要なないもの、あても何の得にもならないやうの。	楚の国人たちが「早く蛇の船をさむいに人が酒を全部飲む」ということをしたところ、一昔前に蛇をかいだ者が船上に口止めをかけたところ、その船には蛇ではないと言った。酒はのみながら、船には蛇はない。
(四面楚歌)	自分の周りがすべて敵で、孤立無援の状態であること。	秦を倒して楚は漢のりゆつほうに敗れ、包围されてしまは、深夜に四方から放り国歌をうたうに絶えなかった。

4 さまざまな故事成語を調べ、その中から好きなものを選び、その言葉を使って作文しなさい。

故事成語	意味やどんな時に使う言葉かを調べる。	
木に縛りて金に求む	力添 <small>ねばせん</small> せせがが	ているため、目的 <small>もくてき</small> が達成 <small>たつせい</small> できてい
出世 <small>しゆ</small> の誉 <small>ほ</small> め	教 <small>お</small> えた受けた者が教 <small>お</small> えた師 <small>じ</small> よりも優 <small>すぐ</small> い	ること
逆筋 <small>ぎせん</small> に體 <small>から</small> かる	目上 <small>めじょう</small> の人や上司 <small>じょうじ</small> に嫌 <small>いや</small> しかられるこ	と

選んだ故事成語

出盤の誉め

娘が内にいるところ、母の手から出でた藍の巻竹で、娘は上へ通じてさなだり、家へ帰る。娘の言ふ「一方が、二重」といひで、娘が家へ帰った。

南中

今は日曜日の夕方。明日は学校だから私は学校の準備をしていた。一方、弟は明日学校が休みのための遊びでゲームをしている。

私は

「はあ、春ちゃんは休みか。いいな。そんなことを思ひながらすと立ち上がる。

た。そこにはコンセントにメモしたままのケーブルの充電器。何回言えがいいだろ

う。私はこのことを百回くらい春ちゃんに

注意している。私は

「春ちゃん、充電器。

弟は動こうとしている。もう、我慢ならない。

「早く片付けなさい!!」

私は爆発した。

弟は私の逆鱗に触れてしまつたのだ。

*弟のあだ名。
春ちゃん

- 故事成語を使って文章を書こう。

故事成 語	意味（辞書）	文 章
矛盾	<p>○ 二つのことの意味が合はないこと。</p> <p>○ つじつまが合わないこと。</p>	<p>(例) 「さあ、テストがんばるぞー」と言つた兄だった。テストまであと一週間。まあ、前回のテストの結果を考えたら、当然のことだ。母からあれだけ怒られたのだから。おや、そろそろ机に向かうのかな?と思つて兄の部屋を見ると、な、なんとゲームをしているではないか。「お兄ちゃん、ダメじやん。」私が声をかけると「戻抜きも必要だしね。」と兄がんばるぞと言つたのに、この態度は矛盾している。また母に怒られるといふと確定だろう。</p>
北水の陣	<p>川や海など水を背負にして陣を立てる。一方に津波がある陣で立つかせた。</p>	<p>学校が終わり、家に帰ってスマホを見てみると、毎日から電話がかかってきた事に気がついた。電話をかけてみたらい家の掃除をよろしくねと頼まれた。私は「わかった」と言い、電話を切った。夕方になり掃除の事をセレクト遊びに行ってしまった。遊び疲れた家に帰ると毎日から電話があり、掃除終わらん? いつも言っていた。その時私は掃除の事を因縁とした背水の陣で掃除をしたところ、毎日の余が止まってしまった。</p>

「今に生きる」ことば

三組 番 氏名

【目標】故事成語を使って体験文を作ろう。

一 使用する故事成語とその意味・由来

故事成語	意味	由来
狐袍 被ふれん	友情が変わらず厚いこと	中国戰国時代、魏の須賀は毛懶が困窮してひきこもった。同情して錦入れを贈った。からに毛懶は、その恩を忘れない。命を失くした。『狐袍』は毛懶の錦入れを褒美して「情のまやかし」といふ。

二 「いつ／どこで／だれが／どうした」かを明確にして、体験文に書きたい内容を簡潔にまとめる。

大人になつた / 二年生 / 私は、私の仲間は友達が / 会つた。

三 体験文をまとめよう。(二百字程度)

丁度昔仲間の良友が会つた。	私は外で自分の生みの母が会つた。	小学校中の方に会つた。	中学生の時、先生が会つた。	仲間の会見に参加した。	高校生の時、先生が会つた。									
丁度昔仲間の良友が会つた。	私は外で自分の生みの母が会つた。	小学校中の方に会つた。	中学生の時、先生が会つた。	仲間の会見に参加した。	高校生の時、先生が会つた。									
丁度昔仲間の良友が会つた。	私は外で自分の生みの母が会つた。	小学校中の方に会つた。	中学生の時、先生が会つた。	仲間の会見に参加した。	高校生の時、先生が会つた。									
丁度昔仲間の良友が会つた。	私は外で自分の生みの母が会つた。	小学校中の方に会つた。	中学生の時、先生が会つた。	仲間の会見に参加した。	高校生の時、先生が会つた。									
丁度昔仲間の良友が会つた。	私は外で自分の生みの母が会つた。	小学校中の方に会つた。	中学生の時、先生が会つた。	仲間の会見に参加した。	高校生の時、先生が会つた。									

親友が会つた。2人で実感し合う。

第2学年A組 国語科学習指導案

令和4年11月29日
指導者 北川中学校 甲斐 日美子

1 教材 仁和寺にある法師一「徒然草」から

2 単元の目標

- 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 (知識及び技能①)
- 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができます。 (知識及び技能②)
- 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。 (思考力、判断力、表現力等)
- 言語がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考え方を伝え合おうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

3 本単元における言語活動

- 「徒然草」を読み、兼好法師の人柄について考えたことなどを伝え合う。

[「読むこと」言語活動例 第2学年 イ]

4 単元の評価規準

- 作品の特徴を生かして朗読するなどして古典の世界に親しんでいる。 (知識・技能①)
- 現代語訳や語注などを手掛かりに「徒然草」を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ろうとしている。 (知識・技能②)
- 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。(思考・判断・表現)
- 兼好法師の考え方から、昔の人と現代の人のものの見方や考え方の違いについて考え、兼好法師の人柄について考えを伝え合おうとしている。 (主体的に学習の取り組む態度)

5 指導観

- 本単元は、学習指導要領 第2学年 1 [知識及び技能] (3) 我が国の言語文化に関する事項 ア、イ 及び、2 [思考力、判断力、表現力等] C 「読むこと」オに基づいて行うものである。この「徒然草」は、
- 本学級の生徒(24名)は、国語の学習に意欲的に取り組み、漢字テストや音読・古典の暗唱にも積極的に取り組む。説明的文章より文学的文章が好きと答えた生徒が8割を超え、登場人物の気持ちを考えたり、感想を書いたりすることに意欲的に取り組む。2年生では「枕草子」を学習し、清少納言のものの見方や考え方につれ、現代の自分たちと同じ感覚を持っていることに気づくことができた。また、「平家物語」では冒頭の暗唱、古文のリズムや擬音語などの特徴を見つけ、武士の生き方について深く考えることができたので、今回の「徒然草」にも意欲的に取り組めると思われる。

ICT活用力について、国語科では、生徒が物語文の登場人物を捉える活動や、短歌の解説をする活動等でロイロノートを活用してきた。班での話し合いをまとめたり、ペアで発表原稿を作ったりすることができる。

- そこで、指導にあたっては、「徒然草」の冒頭を暗唱し、兼好法師についてどのような人であったのかを軽く触れる。次に「仁和寺である法師」を口語訳無しの内容把握に挑戦させ、古典を読み解く面白さを感じさせたい。最後に「徒然草」の他の作品を例に出し、兼好法師の見方・考え方から、兼好法師像について話し合い、古典の世界に親しむ授業にしたい。

ICT活用については、ロイロノートを用いて、班活動の意見を可視化させ、全体で考えをまとめる活動に使っていきたい。

6 指導計画及び評価計画(全4時間)

主な学習内容及び学習活動	時間	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
			話す	書く	読む	
・作品について知り、作品の特徴を生かして冒頭を朗読する。	1	①				
・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読み、古典に表れたものの見方や考え方を知る。	2	②			○	
・登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈する。						
・兼好法師の考え方から、昔の人と現代の人のものの見方や考え方について考え、兼好法師に人柄について伝え合う。	1 (本時)					○

四 体験文を読み合って、感想を伝えよう。

(一))さんからの感想
	友達と自分のやつれをがた、たゞぐもが、たです。そのがお大人にがて、ひやうに語がて仲よしの友達とがて「友情があるが、そつとこども、たてこうだるが、たです。
(二))さんからの感想
	日本語は本当にとても見て読むには簡単ですが、まだ下品な言葉がたくさんあります。今も同じ時代に日本は同じ学校で学ぶ人が多くいますが、下のト音頭など、正しく書くことが出来ない人が多いですね。
(三))さんからの感想
	錦袍がたとこのつら葉の衣ーががとアモハリにかくす。うつすうつした友達とがまくたして、いはんじめの情がうつすうつたと田代ナのアモハリの手本になつた。
(四))さんからの感想
	錦袍がたとこのつら葉の衣ーががとアモハリにかくす。うつすうつした友達とがまくたして、いはんじめの情がうつすうつたと田代ナのアモハリの手本になつた。

五 これまでの学習を振り返ろう。

①自己評価をしよう。

故事成語について調べた意味や由来をまとめた。	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C
「うつすうつ／だれが／どうした」を意識して書いた。	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C
内容が明確になるように文章の構成や展開を考えて書いた。	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C

②学んだことを頑張つたところ、これから生かしたいことを書きなさい。

今回、「錦袍がた」という故事成語をつかって、他の人の故事成語をつくしました。筆頭で「大の木にさかづき」がありましたが、筆頭から筆頭まで書けました。自分の故事成語が書けずに、じぶんは故事成語があまりかしくないので、それを書きました。内容を考えつつ、ちゃんとがでました。

7 本時の目標

- 兼好法師の考え方から、昔の人と現代の人のものの見方や考え方について考え、兼好法師の人物像について伝え合う。(主体的に学習に取り組む態度)

8 学習指導過程

学習段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価	資料準備
導入	1 冒頭の暗唱確認と「徒然草」の基礎知識を確認する。 2 本時の課題を確認する。	・ロイロノートのテスト機能を活用する。 ・「古文・現代語訳・歴史的仮名遣い」の学習用語を確認する。		・タブレット ・ワークシート
昔の人と現代の人のものの見方や考え方について考え、兼好法師の人物像を推測しよう。				
展開	2 「徒然草」の四段の範読を聞き、現代語訳と見比べながら内容をつかむ。 3 六つの段の中から、兼好法師が言いたかった箇所(現代語訳)を確認し、どの段から兼好法師の人物像を推測するか決める。 (複数段になんでも構わない)	・兼好法師の言いたかったことに線を引かせる。 ・兼好法師が言いたかったことを全体で確認する。 ・推測が根拠のないものにならないよう、古文か現代語訳の中から根拠を示すように指導する。		・資料
	4 文章にまとめる。 【例文】 ○段の()から、兼好法師が()と考えていたことが分かるので、兼好法師は()人だったと思います。	・書くのが苦手な生徒のために、まとめ方の例文をモニターに示す。 ・発表をもとに、全体で兼好法師の人物像を推測する。 ○慎重な人 ○皮肉屋 ○身分で物事を考える人 ○素直な人	【主体的】	・モニター ・タブレット
	5 まとめた文章を発表する。	・まとめた文章(ワークシート)は回収して評価する。		
終末	6 本時の振り返りを行う。	・三年生では江戸時代の人の考え方について学ぶことを伝える。		

9 板書計画

○段の()から、兼好法師が()と考えていたことが分かるので、兼好法師は()人だったと思います。	【文章にまとめる】	※ヒント	めあて	
			〔徒然草〕	兼好法師
かるので、兼好法師は()人だったと思ひます。			第五十二段	
○段の()から、兼好法師が()と考えていたことが分かるので、兼好法師は()人だったと思ひます。			第一二段	・慎重な人 ・用心深い人
〔文章にまとめる〕			第五一段	・風流なものが好き ・ケチな人は嫌い
			第五二段	・その道の専門家を尊敬している
			第七八段	・尊好きな人は嫌い ・人を大事にする ・仲間外れは嫌い
			第一六段	・古いものを好む ・シンプルなものが好き
			第一七段	・こだわらない ・珍しい奇抜なものは嫌い ・自分が劣等感を感じる人は嫌い ・自分に利益のある人が好き

里へ岩ゆ

人物の特徴を捉えて論じよう（性格や行動のしかた、ものの考え方など）

平家物語 那須与一・義經・伊勢三郎義盛・年若い女房

徒然草 仁和寺にある法師

「について」

人物の特徴		
文章から読み取れること		
自分の感想		

2年組番 氏名()

人物の特徴を捉えて論じよう（性格や行動のしかた、ものの考え方など）

平家物語 那須与一・義経・伊勢三郎義盛・年若い女房

徒然草 仁和寺にある法師

「与一」について

人物の特徴	普段は控えめで、あまり目立たない人物 普段から訓練を怠らない。 しかし、普段から訓練にはげんでおり を持った。時に成功させる実力 を持った人物。	現代でも期待されても かがむと云はざるが似てゐる。
文章から読み取れること	最初は断ったところから控えめなことが分かる 味方のつわものどもは、かの若者ならば、確かに 射当てろに相違ない」と、その後うなづくはる介に 見送ったが、それには義経も同じ思いだった。 このところから味方や義経から普段の戦 での活躍を見て信頼されてゐる。	
自分の感想	うまくいっている人はその裏で努力しているのだから 自分もでかいでかいと言つ前にまずは努力してみよう と思った。	今も昔も都下の上司に対する謙虚さといつ態度は日本人 の精神として根づいている

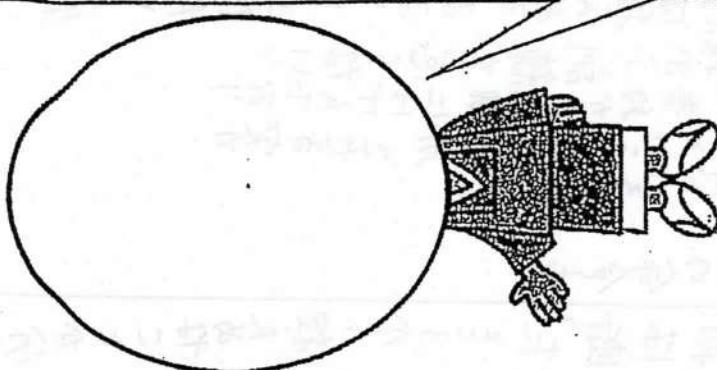
2年一組 番 氏名 一

川井()組()職()

目標()

- 1 山東寺の法師はどの辯論で勝利を収められたか。その辯論の特徴を記述し、弊社側にあわせて

「おおむね圓にだらむやれりて、御心を御心にせり。」などと云ふ
お参りしだくがふだよく御へてござるが、回転をあひたのだとおもひ。
知りだかひだかねむ、石清水八幡宮の多く御心にひか木末の皿舟に思つて、
ヨロコビドは見なかつた。

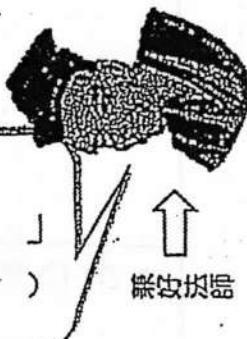


↑ 山東寺の法師

- 2 山東寺の法師はなぜかとてかをあらわす。その辯論の特徴を記述せよ。

筆者(筆女法師)の感想

口語訳()

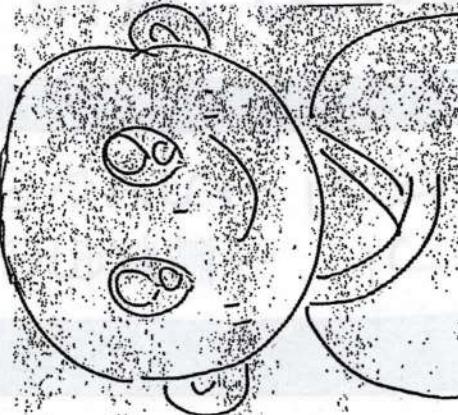
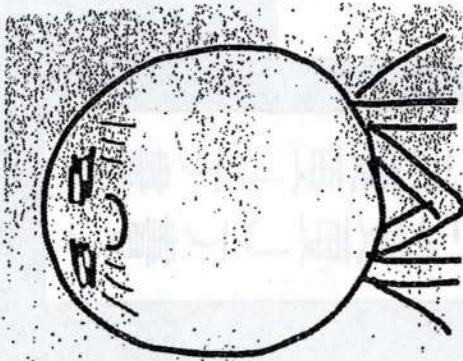


↑ 筆女法師

- 3 筆者(筆女法師)の筆女法師はどの辯論をつかひたのであるか。

()

■ 『山陽物語』は、江戸時代後期の文部省監修による教科書で、その中で「山陽道の風土」として、山陽道の地理や歴史、文化などを記載している。



2 山東省立技術高等専門学校の設立とその運営

その・・・すごく言いづらいんだ
けど、あなたが見てきたのは別の
ところだと思う。
山に登っている人がいたんだよね。
その登った先が石清水八幡宮
なのよ。

そこはお目当ての神社じゃないと思ふよ。参る前に調べていってからもうがいいのではな

頑張つて歩いていつたどと思うけど
石清水八幡宮は山の上にあると
ころだよ。これからはこんな間違いが無
くようにならう。気になつたことがあつ
たたら人に聞くようにしよう。

4 現代でも、株式会社の権限もはづけられるが、出来事はござります。貢献が認められて年収が上がります。

自分が困っているときや初めてすることであから抜ぬきがかったとき

説明書が英語で書かれていて、物の使い方が全く分からぬとき

タブレットやパソコンの使い方が分からぬとき。

部活のとき、自分ができていないところを指摘してくれたり、新しい技術を覚えるとき。

もしもあなたが【武士】だったら…

「あ、射たり」→ピンクのシートに変更して書く
 「情けなし」→薄黄色のシートに変更して書く

もし私がこの戦場にいた武士だったら
 「情けなし」と言つていただろう。

なぜなら敵かもしれないけど、自分た
 ちは褒められているのに撃たれるのは
 可哀想だと思うからである。

また、撃たなかつたら仲良くなれる
 きっかけだったかも知れないしこの戦
 いはもう終わっていたかも知れないと
 思うからだ。

だから私は、最後に義経に、これだけ
 は言いたい。

「そこの判断は違うと思いました。い
 くら敵としてもそこまでする必要は
 ない」と。

1 題材：いにしえの心を受け継ぐ

2 目標

- 古典の文章や和歌を読み味わい、引用して使うことができる。（知識・技能）
- 今までに学習した古典の文章や和歌の中から、自分の心に響いた言葉を引用し、自分の体験と重ねた文章を書くことができる。（思考・判断・表現）
- 自分の書いた文章をもとに、思いや考えを伝え合おうとすることができる。（学びに向かう力）

3 本時の目標

- 前時に書いた文章を聞き合い、感想を伝え合うことができる。（学びに向かう力）

4 指導計画及び評価計画

主な学習内容及び学習活動	時間	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
			話す 聞く	書く	読む	
「和歌の世界」を読み、三大和歌集について時代背景や作者、作風などを知り、興味をもつ。	1	○				
「万葉・古今・新古今」を声に出して読み、情景を想像し、感じたことを話し合う。	2				○	
「おくのほそ道」を読み、芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。	2				○	
今まで学んだ古典作品を引用した文章を書き、聞き合い、感想を伝え合う。	2 (本時 2/2)		○	○		○

5 学習指導過程

☆：ICTの活用（どのような機能を活用したか）
 □：ICTを活用し、どんな力の育成を目指したか。

段階	学習内容および学習活動	指導上の留意点	評価 【評価方法】	資料・準備
5分	1 前時の活動を振り返る。 2 どの作品を選んだ人が多かったかを知る。 3 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">めあて 古典作品を引用して書いた文章を聞き合い、感想を伝え合おう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフで示して、興味・関心を高める。 ○ 古典作品から引用して書いた文章を聞き合い、感想を伝え合うことを確認する。 		☆クロムブック ☆モニター
42分	4 作品を発表し、聞き合う。 5 発表を聞いた感想をまとめ、送り、読み合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予め写真で提出した原稿をテレビ画面に映しながら、発表する。 ○ 感想をロイロノートで送り合わせる。 ■まとめたことを、ICTを使って伝え合う力を育てる。 	発表を聞き合い、感想を伝え合うことができたか。 (発表・観察)	☆クロムブック ☆モニター ☆クロムブック
3分	6 本時の学習のまとめをする。			

にしその心を受け継ぐ 氏名()

)

○心に残った俳句・和歌を選び、自分の体験と重ねて作文しよう。

俳句・和歌	作者
の意味	
体験・思い	

いにしへの心を受け継ぐ

氏名(ニイ 中)

○ 心に残った俳句・和歌を選び、自分の体験と重ねて作文しよう。

俳句・和歌 作者	人はいさゝも知らずかるやとは 花を昔日の香にほひける
俳句・和歌 の意味	人の「は」は「や」と「寝かてしまふ」たから「ませんが」 昔ながらのなつかしい土地で花が昔のよう香っている。
体験・思い	私はこの歌を読んで、小時候に祖父母と這 うした事を思い出しました。数年前にも、誰も 住んで居ないその家に、母と行きました。去頃を聞 けた時の香りが当時と変りず様でした。とても 優しかった祖父母との思い出を思い出しました。 もう誰も住んでいないけど、昔と變りず 様、いろいろなのがあります。

いにしえの心を受け継ぐ 氏名()

○心に残った俳句・和歌を選び、自分の体験と重ねて作文しよう。

〔例〕

俳句・和歌	作者	見わたせば花も紅葉もないけり 浦の苔屋の秋の夕暮れ 藤原定家
俳句・和歌の意味		見渡すと花も紅葉もないことだ。海辺の苔屋の辺りの夕暮れよ。
体験・思い		私がこの歌を読んで思い出したのは、数年前の十一月の家田湿原の風景です。福岡大学の石丸教授を、九州でも有名な家田湿原にお連れした時です。な、なんと枯れすすきばかりの茶色い風景が広がるばかり。五月の爽やかな水の流れも、可憐なサイコクヒメオホネも、かわいらしいグンバイトンボも見当たらず、ただただ荒涼たる景色でした。わざわざ福岡から来られた教授も「また、夏に来てみたいのです。」と言。本当に申し訳ない思いでいっぱいになりました。

「お歌奉題で心に響いた音楽」

一組四番 名前 南浦中

